

令和6年度第6回千曲市教育委員会定例会会議録

1. 日 時

令和6年9月25日（水）午前9時00分から午前10時45分

2. 場 所

千曲市役所 302会議室

3. 会議日程

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 提出議案
4. 報告事項
5. その他
6. 閉会

4. 議 題

○議 案

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 議案第21号 | 千曲市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則 |
| 議案第22号 | 千曲市教員住宅管理規則の一部を改正する規則 |
| 議案第23号 | 千曲市教育振興審議会委員の委嘱について |
| 議案第24号 | 「第四次千曲市子ども読書活動推進計画」策定委員の委嘱について |

○報告事項

- | | |
|--------|----------------------|
| 報告第26号 | 令和6年9月千曲市議会定例会報告について |
| 報告第27号 | 教育長、部・課長報告について |
| 報告第28号 | 10月の各課の行事予定について |
| 報告第29号 | 行事の共催・後援について |

5. その他

- (1) 次回定例会の開催について
- (2) その他

6. 出席者

○委 員

小松信美教育長 中村洋一職務代理者 松田祐子委員
新海敦子委員 吉味淳委員 若林直美委員

○教育委員会担当部局

小岩教育部長、吉池文化創造担当部長（歴史文化財センター所長事務取扱い）、小林教育総務課長、湯原生涯学習課長、町田スポーツ振興課長、平原文化課長、松峯第二学校給食センター所長、田中総務係長、北沢総務係主任

1. 開会 教育部長

2. 教育長あいさつ 教育長

3. 提出議案 (教育長進行)

【議案第21号】 千曲市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則
教育総務課長 ー資料に基づき説明ー
〈質疑なし〉〈異議なし〉

【議案第22号】 千曲市教員住宅管理規則の一部を改正する規則
教育総務課長 ー資料に基づき説明ー
〈質疑なし〉〈異議なし〉

【議案第23号】 千曲市教育振興審議会委員の委嘱について
教育総務課長 ー資料に基づき説明ー
〈質疑なし〉〈異議なし〉

【議案第24号】 「第四次千曲市子ども読書活動推進計画」策定委員の委嘱について

生涯学習課長
委員

生涯学習課長

委員

教育長

ー資料に基づき説明ー

子どもに活字を与えることは非常に大事なことだと思います。各学校の図書館司書の方たちの子どもたちに本を読んでもらいたいという思い、工夫し、努力をしている姿を見てきていますが、その方たちが委員に委嘱されていない。それで何が変わるのかと思いました。アンケート等で調査を行い、問題を提起したとして、どのような方向に進めようとしているのでしょうか。計画を策定するにあたりましては、方向性を考えながら、また、現場の声も聞きながらということになりますので、現状の課題を集約していくように努めてまいります。

策定委員はどのような方向にいかうとしているのでしょうか。また、委員に何を求めているのでしょうか。

詳細については、次回の定例会で説明をさせていただければと思います。おそらく、千曲市の子どもの読書活動について、学校だけではなく、地域や保育園、児童館など、様々なところで子どもたちの読書を推進していきましょうと。そのために、どういう計画を立てればよいのかと、そういった内容も盛り込まれるのではないかと思います。一般の図書館や学校図書、保育園の図書など子どもたちにどのように推進していけばよいのかということ、いろいろな方からお話を聞きながら策定していく、そのようなものだと思います。司書部会長も委員に委嘱されていますので、学校の意見も集約できるかと思います。色々な学識経験者、専門の方々等の意見をいただきながら、千曲市の読書活動の推進をどのように広めていけばよいのか、ご意見をいただきながら、計画を策定していくことだと思います。

〈異議なし〉

4. 報告事項

【報告第26号】 令和6年9月千曲市議会定例会報告について

教育長
委員

ー資料に基づき説明ー

学校体育館が避難所になっているとの一般質問ですが、学校施設の中で体育館だけが避難場所に設定されているのでしょうか。全国的には体育館に避難

しているのがほとんどですが、その間授業は停止しているので、エアコンのある教室等をどうして使用しないのが疑問でした。何か法的な制限があるのでしょうか。

教育総務課長

体育館だけが避難所とされているわけではなく、学校全体が避難所として指定されています。

例えば、地震災害の場合は体育館を避難所として使用する、水害の場合には校舎の2階以上の高い場所を避難所として使用するなど、災害によって場所を変えるということを想定しています。また、避難が長期化するようなことがあれば、夏場はエアコンのある教室などに移動してもらうことも考えられます。毎年、避難所担当者と学校職員との打合せや避難所設営訓練などを行い、高齢者はどこへ行くのか、障害のある方はどこへ行くのかということを確認しています。

教育長

補足になりますが、学校は災害時の避難場所になりますが、ずっと避難しているわけではないので、子どもの教育の場をできるだけ確保しなければいけない。ということで、できるだけ教室は空けておく必要がある。ただ、災害の状況によっては教室に入らざるを得ない場合もあるわけで、開放はするが程度復旧のめどが立てば、教室からは他に移ってもらい、授業を再開するという事を考えていると思います。そのようなことから、まずは体育館に避難して、状況に応じて順次教室を開放することになります。台風19号の際にも、乳幼児等がいるご家庭は空き教室にご案内した経緯もありますので、そのようなところでご理解いただければと思います。

委員

体育館にエアコンの設置が中々できないという答弁でしたが、災害でも短期間の避難が想定される場合に教育活動に影響を及ぼすかという、そうでもないと思います。台風19号の話ですと、一晩だけの避難でしたが、体育館で人が密集していて暑かったという方もおりましたので、対応をお願いできればと思います。

委員

先日、八幡小学校で行われた市の防災訓練ですが、そこで涼風扇が稼働していて、それがよく効いていてとても涼しく感じましたし、素晴らしいものだと思います。涼風扇は何機くらいの寄附があったのでしょうか。

教育総務課長

戸倉上山田ライオンズクラブ様からは、すべての小中学校に1台ずつと千曲坂城クラブにも1台、全部で14台ご寄附をいただきました。それ以外にも、以前に市教委で設置しているものがあります。

委員

十分に対応できるということですね。

教育総務課長

体育館は広いのでもう少しあればとも思いますが、現在はそれで対応しています。

委員

有機栽培のことを質問されていますが、それ以前に、千曲市内で作った野菜で給食食材を賄えるようにというのは、私は違うなと思いました。私も以前に、市内で生産したものを給食に使えばよいのではないかと質問したことがありますが、13校の給食を千曲市内の農業ではとても賄えるものではないという回答をいただいた記憶があります。まずは、農業振興を進めてからでないと無理だと思います。また、有機栽培と簡単に言いますが、千曲市内で有機栽培に転向していくには、最低でも6年はかかると聞いています。有機農業の拡大に取り組むというお話もありましたが、千曲市の実情にあった話が出ていないと思います。

第2学校給食センター所長

委員がおっしゃるように、地産地消に関しましても、千曲市の食材だけで第1、第2両方の給食センターで提供する量を賄うのは不可能です。ただ、なるべく地域の食材を使っていくということは、大切な考え方だと思います。子どもたちの健康を考えると、有機栽培の野菜を取り入れていくことは非常

に大事です。しかし、まずは、農林課主導で有機栽培の普及ということから始めていかなくは、給食に使用するだけの量の確保は到底無理ですので、農林課と連携を取りながら、なるべく増やしていくように推進はしていこうと考えております。すぐにできるものではないということは、おっしゃるとおりだと思います。

委員
委員

ただパーセンテージを上げていくだけの努力になっては困ると思いました。奨学金について色々なデータがありますが、奨学金受給率は55%という数字が出ており、2人に1人は何らかの奨学金を受けているという国の統計があるようです。あるいは、高校教育の場合ですが、現場だと70%くらいが教育費無償化の対象になっていて、現状でも手厚くフォローされています。ですが、それでも困り感がある方々がいらっしゃいますので、千曲市の貸与制度を廃止しろという話ではありませんが、基金を有効に活用できるように、返済額を少なくするとか、一部貸与、一部給付といった方法も検討していただければと思います。

教育総務課長

給付型となると、原資が必要となりますので、実施は難しいと考えています。現行の奨学金制度について、今後は、借りやすい、返しやすいというところを、他市の制度も参考にしながら検討していきたい。

委員

小学校や中学校は何かあったときの避難所になっているということですが、予備電源はあるのでしょうか。

教育総務課長

学校には、非常用電源は完備していませんが、学校に設置している備蓄倉庫に、発電機は配置しています。

委員

市民の皆さんが優先するものは、今だと一番はスマートフォンだと思います。充電が切れたら困ってしまう。ですので、避難している方のスマートフォンの充電ができるくらいの予備電源があればよいと思います。

委員

先ほどの給食のセミナーの件ですが、私も出席いたしました。議員さんも参加されていたようで、熱心に聞いておられました。やはり若い親子の方の出席が多くて、その方たちが熱心に聞いている現状を目にしました。人参1本からのスタート、それでよいと思うという話でしたが、いやいや、人参1本くらいで有機栽培というのは難しいと思います。また、有機栽培は大事なことだと思いますが、そういった声を上げる方々がまず始めてくださるならともかく、自分たちではやらずに、よそ様にやっていただこうとするのは、おかしな話だと思います。

委員

私もそのとおりだと思っています。オーガニック野菜もスーパーに並び始めている現状もありますが、非常に手が出しにくい価格です。普通の野菜も値上がりしていますが、その1.5倍～2倍の値段になっています。すべてそれで賄っていけるのが理想ですが、給食も無償化しなければいけないというような意見も出ている中で、予算の関係や、オーガニック野菜がこれから千曲市でどれだけ普及していくのかという見通しもない中で、他の委員がおっしゃったような、他力本願的に行っていくことは、私もどうなのかなと思っています。そういう野菜の必要性を地道に確認した上で、その中で何ができるのかとうところで、歩みを進めていただきたいなと思います。様々な条件が重なることですので、そう簡単ではないことだと思っています。

第一学校給食
センター所長

現状だけ申し上げますと、第1学校給食センターが約3,000食、第2が約1,600食を作っており、現在、有機野菜の栽培が進んでいると思われるのが小松菜で、給食センターでは週に1、2回の頻度で、1回あたり15kgから22kg使用しています。課題としましては、有機野菜の基盤づくりを行っていかねば無理だと思います。また、単価が現在高騰しており、給食費も値上げをできない中で、高価な有機野菜をどのように使っていくかは課題ですし、

価格面の折り合いということも課題だと考えています。少しずつ使用はしていますが、現状では中々難しいという状況です。

委員

3点あります。まず1点目。子どもたちの立場に立つと、安心安全の環境下でないと、自分で意見を言えないと思います。大人は何でもいいから話して、何で言わないのと言ってしまいがちですが、そもそも子どもたちが安心して自分の話をできる環境を学校現場や家庭でもそうですが、大人の側が考えていく必要があると思っています。

2点目。カスタマーハラスメントのお話がありましたが、教育現場ですといわゆるモンスターペアレントということでしょうか。最初から攻撃的に出てくる保護者の方も中にはおりますが、大方が最初はそんなに大きなことではなく、先生と一緒に話をして考えていただきたいというところから始まりますが、その初動の対応により、保護者が学校へ攻撃的な要素を持って対峙していくという構図も見えてきています。保護者の訴え、それから子どもも含めて、丁寧で真摯な対応を求められるところだと思います。紙一重というような事案が多いことをご承知いただければと思います。

3点目。子どもたちの居場所についてのところですが、千曲市にもフリースクールが1校でき、そのスタッフと学校の先生との連携が非常に図られているように思います。支援というとすぐに金銭的なことを思い浮かべてしまいますが、教育委員会や学校などが、フリースクールを応援しているということ伝えていくことも、一つの支援になると思っています。

委員

夏休み明けに子どもの自殺が増えることが報道されているとありますが、これは本当のことでしょうか。

教育長

全国的にそのような傾向があります。長い休みが続き、それでまた学校に行くという段階になったときに、そういう傾向が出てくるようです。

委員

それは、夏休み前から何かを抱えているということなののでしょうか。

委員

やはり、色々なことを休み前から抱えていて、それでもずっと自分でがんばってきたけど、夏休みを機会に自分で思索する機会が得られて、また学校へ自分の身を置くということを考えたときに、これ以上は無理だとなってしまい、そこで本当にあってはならないところへ行ってしまうお子さんがいる、ということは確かです。長野県もあまり数はあがってきませんが、実情はかなり多いと思います。

教育長

学校でも家庭でも普通に過ごしているように見えても、生活の中でどんどん追い込まれていく子どもも中にはいるというように思います。言い出せないことで自分でも追い込まれていく。そのようなところをどう大人側がキャッチしてあげて救っていくかということが非常に大きな課題だと思います。

【報告第27号】 教育長、部・課長報告について

教育長

－資料に基づき説明－

委員

千曲坂城クラブの会費の検討が始まっていると伺っていますので、意見になりますが、例えば、1番高くて7,000円というデータが出ています。7,000円という、1年にすれば84,000円で、個人の中学生の家庭がその金額を払うということを慎重に検討していただきたいと思います。また、前回は申し上げましたが、基本的には学校教育の枠の中でやるべきことですので、公費で賄うべきだということも柱に据えていただきたい。外部評価の意見・提言、質問等を受けたとありますが、どのような質問や意見があったのか、概略で結構ですので、教えていただければと思います。

教育総務課長

行政評価等外部委員会では、松本市で起こった中学校で直接契約している外部コーチから性加害を受けたという事案があったことから、千曲坂城クラブ

の指導者の登録方法や研修の状況について質問や意見がありました。千曲坂城クラブでの指導者登録は、一般公募ではなく、学校や専門部、連盟や協会から推薦を受けた方を、各専門部を通じて登録をいただいているので、指導力はもちろん、人格なども問題ない方を登録しております。ただ、指導者は民間の方が多く、仕事の都合上、一堂に会しての研修会、対面での開催が難しいため、オンラインで講習を受けていただいております。受講状況は、入力フォームで確認しています。受講は努力義務ということで、指導者全員が受講できているわけではありませんが、専門部を通じて、できる限り受けてくださいということをお願いしております。それ以外には、学校間移動や保険などのご質問がありました。

委員
教育総務課長

指導者登録したいという方は、どのようにすればよいのでしょうか。
各専門部の事務局がありますので、そちらにお話していただく、または、事務局の教育総務課に直接問い合わせいただいても大丈夫です。

【報告第28号】 10月の各課の行事予定について

総務係長
－資料に基づき説明－
〈質疑なし〉

【報告第29号】 行事の共催・後援について

総務係長
－資料に基づき説明－
〈質疑なし〉

5. その他

【次回定例会の開催について】

教育長
－次回定例会日程について確認－

【その他】

総務係長
－小学校への寄附について－
文化課長
－絵画の寄附について－
教育総務課長
－千曲坂城クラブだよりについて－
文化創造担当部長
－2024年度 観光考古学会シンポジウム（文化遺産の次世代継承とデジタル技術）について－
総務係長
－更埴郡市教育委員会の研修会について－
生涯学習課長
－射水市との交流事業 山の生活体験交流会の報告について－
教育部長
－健康福祉部人権集会セミナーについて－

6. 閉会 教育部長